

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く
都道府県別訪日外客数と訪問率
月次指標の早期推計：4月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●5月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表2)、4月の訪日外客総数(推計値ベース)は10,900人で、前月(12,300人)から減少したが、2カ月連続で1万人を超える水準となった。伸びはCOVID-19の影響がない前々年同月(2019年4月)比で見れば99.6%で底這いの状況が続いている。

▶訪日外客数を国・地域別にみると、トップ5は中国が3,300人、韓国が1,100人、インド、米国がそれぞれ600人、台湾が400人であった。米国以外の国・地域は前月からいずれも減少した。

▶上記の国・地域の訪日外客数の前々年同月比をみると90%超の落ち込みとなっており、蒸発した状況が続く。

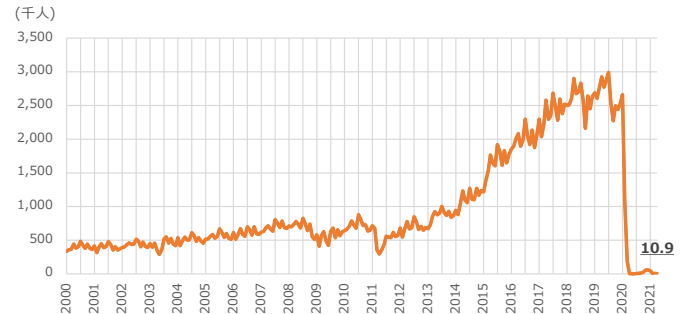
▶政府は5月14日からCOVID-19変異株(インド株)の感染が拡大している地域(インド、パキスタン、ネパール)からの入国制限措置を開始した。厳格な水際対策が続いているため、訪日外客数は依然底這いで推移する状況が続こう。

▶JNTO 訪日外客統計を目的別にみれば(図2及び表3)、2月の総数(暫定値ベース)は7,355人(前年同月比-99.3%)となった。うち、観光客は266人(同-100.0%)、商用客は776人(同-98.9%)、その他客は6,313人(同-94.4%)であった。観光客、商用客は17カ月連続、その他客は13カ月連続、いずれも前年比マイナスとなった。

▶目的別国・地域別のトップ5をみれば、2月の観光客は米国が81人、中国が40人、韓国が22人、フィリピンが17人、台湾が12人。商用客は中国が201人、韓国が94人、台湾が61人、米国が53人、インドが33人。その他客は中国が1,506人、韓国が794人、インドが609人、台湾が350人、米国が233人であった。なお、その他客のベトナムは入国緩和策の一時停止の影響により190人となり、前月(19,963人)から大幅減少した。

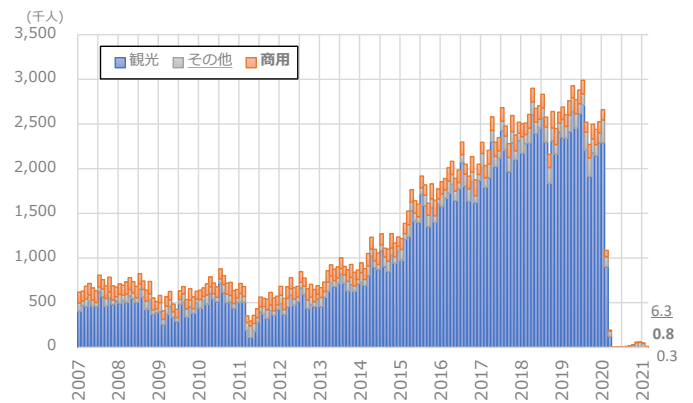
▶世界のワクチン接種状況をみれば(図3)、欧米の主要国でワクチンの普及が進み、観光に対する規制緩和が行われている。5月16日からワクチン接種を終えた証明等があれば、イタリアでは観光客の受け入れを開始することとした。また、英国では17日からイングランド住民に限り、感染状況が落ち着いている国・地域への海外旅行を解禁した。一方、日本の接種状況は欧米各国と比較すると遅れており、入国緩和の目途も依然立っていない状況となっている。

図1 訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2019年:確定値、20年及び21年1-2月:暫定値、
21年3-4月:推計値

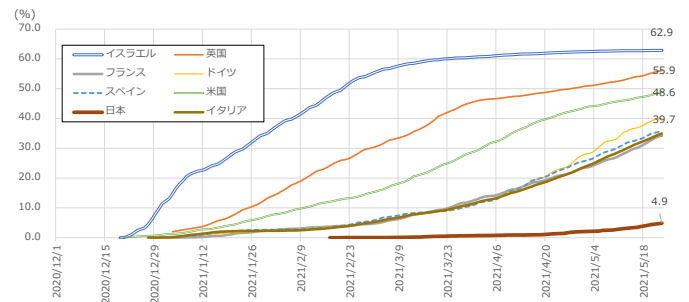
図2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注)「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図3 ワクチンの接種状況



出所:Our World In Dataより作成(5月23日時点)

注) 少なくとも1回接種した人の割合

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

●4月関西の財貨・サービス貿易及び3月のサービス産業動向

▶ 関西 4月の輸出は中国や米国の景気回復もあり、前年同月比+24.5%で2カ月連続のプラスとなり、伸びは前月(同+14.6%)から加速した。輸入は同+4.4%と3カ月連続のプラス。うち、欧米からの医薬品が前月に引き続き増加した。結果、関西の貿易収支は3,172億円と15カ月連続の黒字となった。また、貿易総額(輸出入合計)は同+14.7%となり、4カ月連続のプラスであった(前月：同+10.8%)(図4)。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西4月の対中輸出額は前年同月比+26.4%で11カ月連続のプラス。伸びは前月(同+22.4%)から拡大し、2カ月連続の二桁増となった。うち、半導体等製造装置やプラスチックが輸出増に寄与した。一方、対中輸入額は同-9.8%で3カ月ぶりのマイナス。昨年のマスクの輸入が大幅増加した裏が出たため、織物用糸及び繊維製品が輸入減に寄与した。

▶ 財貨の輸出入は回復を示しているが、サービスの輸出入は低迷している。4月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は2,341人で前月(3,129人)から減少した。伸びはコロナ禍の影響がない前々年同月(2019年4月)比-99.7%となり、インバウンド需要は消失した状況が続いている(図6)。また、同月の日本人出国者数は2,965人で前月(2,411人)から幾分増加した。前々年同月比で見れば-99.1%となり、アウトバウンド需要は依然低水準が続く。

▶ 財貨の生産は持ち直しの動きがみられるが、サービス業の回復は遅れている。3月のサービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み：2015年平均=100)をみれば(図7)、97.5で前月比+1.1%上昇した。5カ月ぶりのプラス。3月は緊急事態宣言が全国的に解除されたこともあり、卸売業や生活娯楽関連サービス業を中心に改善した影響が表れた。1-3月期は96.9で前期比-1.1%低下し、3四半期ぶりのマイナス。水準は前年同期の(100.1)から3.3ポイント低い。

▶ 第3次産業活動指数のうち、観光関連指数*(2015年平均=100)は、68.8と前月比+5.6%上昇した(図7)。伸びは2カ月連続のプラス(前月：同+4.9%)。1月の落ち込みが大きい結果、1-3月期は65.4で前期比-14.6%低下し、3四半期ぶりのマイナスとなった。前年同期の水準(92.7)と比較すれば、27.3ポイント低く、回復が遅れていることがわかる。なお、4月以降、COVID-19の感染再拡大(第4波)により、3度目の緊急事態宣言が発令されたため、観光関連産業は再び落ち込む可能性が高い。

*観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。今月号から観光関連産業の動向を把握するために作成した。

図4 関西 対世界貿易の推移

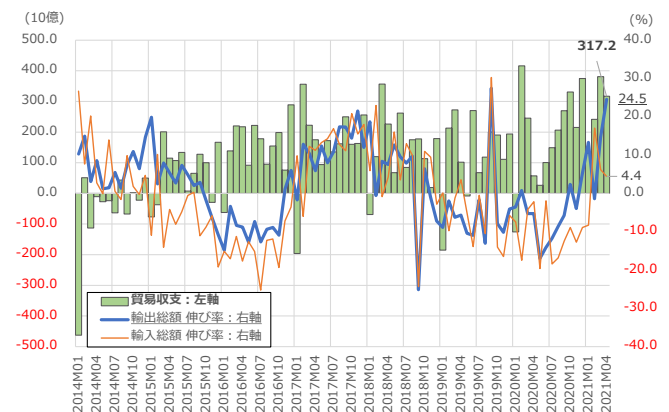
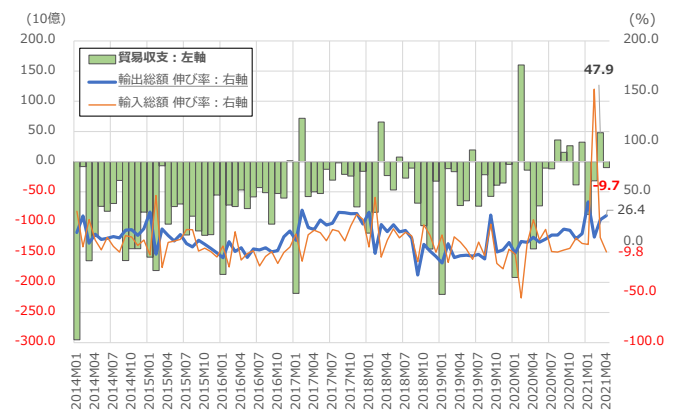
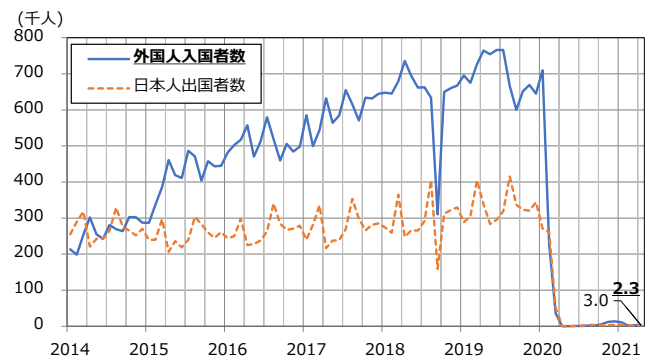


図5 関西 対中貿易の推移



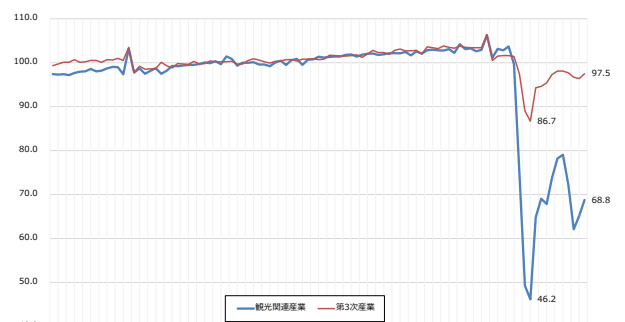
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所：出入国管理統計より筆者作成。2021年4月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業：2015年=100



出所：経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 2月延べ宿泊者数の動向：関西 2府 8県

▶ 2月の関西 2府 8県の延べ宿泊者数(全体)は 3,077.2 千人泊で、伸びは前年同月比-55.7%と 13 カ月連続のマイナスとなった(表 1)。マイナス幅は前月(同-63.9%)から縮小したが、大幅減少が続く。なお、3月 21日に緊急事態宣言が全国的に解除されたが、4月 25日以降、3度目の緊急事態宣言が発令されているため、宿泊者数はしばらく低調が続こう。

▶ うち日本人延べ宿泊者数をみれば、3,044.4 千人泊であった。伸びは前年同月比-48.0%と、14 カ月連続のマイナス。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が 947.3 千人泊、京都府が 603.7 千人泊、兵庫県が 499.4 千人泊、三重県が 255.5 千人泊、和歌山県が 172.5 千人泊、滋賀県が 154.2 千人泊、福井県が 127.7 千人泊、鳥取県が 111.5 千人泊、奈良県が 86.4 千人泊、徳島県が 86.4 千人泊であった(表 1 及び図 8)。

▶ うち外国人延べ宿泊者数をみれば、32.8 千人泊であった。伸びは前年同月比-97.0%(前々年同月比-98.6%)で前月(同-96.3%)からマイナス幅は拡大し、13 カ月連続のマイナス(表 1 及び図 9)。府県別に外国人延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が 19.1 千人泊、京都府が 4.8 千人泊、兵庫県が 3.5 千人泊、三重県が 2.3 千人泊、滋賀県が 0.9 千人泊、鳥取県が 0.8 千人泊、福井県が 0.5 千人泊、奈良県が 0.4 千人泊、和歌山県が 0.4 千人泊、徳島県が 0.2 千人泊であった。昨年 2月から入国制限が開始されて 1年が経過したが、外国人宿泊者数は底しいでの推移が続く。

▶ 2月の関西 2府 8県の延べ宿泊者数を居住地別でみると(図 10)、県内の延べ宿泊者数は 853 千人泊(前年同月比-16.0%)、県外は 2,063 千人泊(同-63.0%)であった。伸びは県内が 3カ月連続、県外が 15カ月連続といずれもマイナス。緊急事態宣言再発令により府県間を跨ぐ不要不急の移動が制限されたことから、特に県外の延べ宿泊者への影響が大きい。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

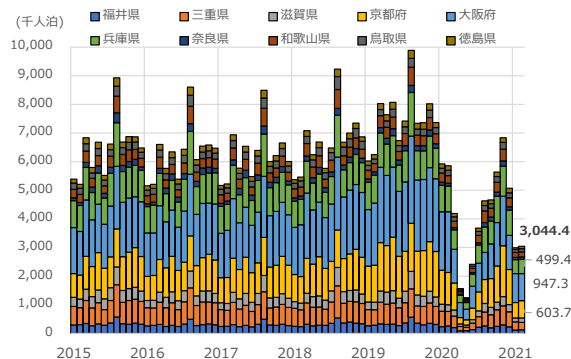


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

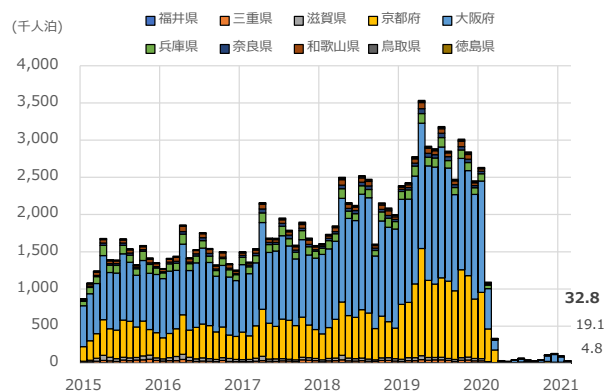
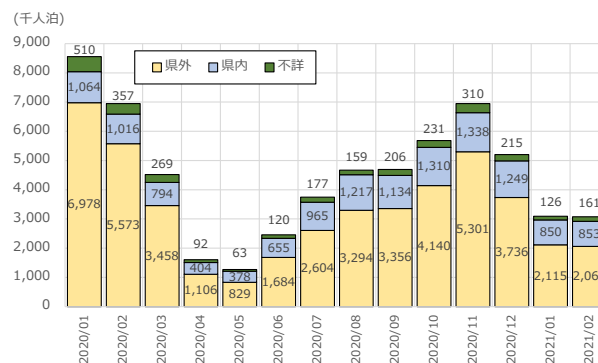


図 10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率の推移

2021年2月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)
福井県	128.2	-51.5	-56.5	127.7	-50.7	-55.1	0.5	-91.1	-95.2
三重県	257.8	-49.7	-54.8	255.5	-49.4	-52.9	2.3	-72.7	-91.8
滋賀県	155.0	-36.7	-49.1	154.2	-34.1	-42.0	0.9	-92.1	-97.8
京都府	608.6	-61.2	-70.0	603.7	-46.6	-53.1	4.8	-98.9	-99.3
大阪府	966.4	-63.7	-72.9	947.3	-55.3	-56.4	19.1	-96.5	-98.6
兵庫県	502.8	-46.9	-54.3	499.4	-44.5	-48.8	3.5	-92.7	-97.2
奈良県	86.8	-17.4	-39.4	86.4	-10.5	-22.7	0.4	-95.1	-98.7
和歌山県	172.8	-39.5	-47.7	172.5	-36.3	-41.1	0.4	-97.5	-99.0
鳥取県	112.2	-42.0	-37.8	111.5	-39.7	-31.3	0.8	-91.3	-95.9
徳島県	86.7	-46.5	-45.0	86.4	-44.2	-41.9	0.2	-96.6	-97.3
関西2府8県	2,492.4	-57.1	-66.6	2,463.4	-48.2	-51.8	29.0	-97.3	-98.8
関西2府8県	3,077.2	-55.7	-64.5	3,044.4	-48.0	-51.2	32.8	-97.0	-98.6
全国	17,634.1	-52.9	-59.5	17,427.2	-46.5	-49.1	206.9	-95.7	-97.8

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図 8~10 及び表 1)

表2 2021年4月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	4月	4月		1-4月	1-4月	
総数	2,926,685	10,900	-99.6	10,980,482	77,100	-99.3
総数(韓国・その他除く)	2,212,671	6,910	-99.7	7,923,214	57,090	-99.3
韓国	566,624	1,100	-99.8	2,647,397	6,500	-99.8
中国	726,132	3,300	-99.5	2,895,449	19,300	-99.3
台湾	403,467	400	-99.9	1,593,227	2,000	-99.9
香港	194,806	60	-100.0	699,852	320	-100.0
タイ	164,817	200	-99.9	512,754	1,100	-99.8
シンガポール	36,704	40	-99.9	129,169	230	-99.8
マレーシア	46,092	100	-99.8	164,766	500	-99.7
インドネシア	39,768	200	-99.5	136,476	1,600	-98.8
フィリピン	69,266	200	-99.7	188,700	1,600	-99.2
ベトナム	55,295	300	-99.5	177,928	20,700	-88.4
インド	18,376	600	-96.7	57,667	2,900	-95.0
豪州	70,504	100	-99.9	243,400	300	-99.9
米国	170,247	600	-99.6	542,671	2,800	-99.5
カナダ	38,897	100	-99.7	123,032	300	-99.8
メキシコ	8,222	40	-99.5	20,466	140	-99.3
英国	44,537	200	-99.6	128,255	700	-99.5
フランス	46,005	100	-99.8	108,130	800	-99.3
ドイツ	27,829	100	-99.6	81,230	600	-99.3
イタリア	24,062	90	-99.6	50,948	330	-99.4
ロシア	13,787	100	-99.3	37,405	500	-98.7
スペイン	13,858	80	-99.4	31,689	370	-98.8
中東地域	13,352	80	-99.4	32,644	300	-99.1
その他	134,038	2,810	-97.9	377,227	13,210	-96.5

表3 2021年2月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2020年	2021年	伸率(%)	2020年	2021年	伸率(%)	2020年	2021年	伸率(%)	2020年	2021年	伸率(%)
	2月	2月		2月	2月		2月	2月		2月		
総数	1,085,147	7,355	-99.3	898,976	266	-100.0	73,265	776	-98.9	112,906	6,313	-94.4
韓国	143,896	910	-99.4	115,583	22	-100.0	14,639	94	-99.4	13,674	794	-94.2
中国	87,220	1,747	-98.0	55,297	40	-99.9	5,333	201	-96.2	26,590	1,506	-94.3
台湾	220,420	423	-99.8	209,853	12	-100.0	5,484	61	-98.9	5,083	350	-93.1
香港	115,613	39	-100.0	113,289	2	-100.0	1,535	9	-99.4	789	28	-96.5
タイ	97,957	92	-99.9	94,164	6	-100.0	1,984	2	-99.9	1,809	84	-95.4
シンガポール	19,551	48	-99.8	17,625	2	-100.0	1,553	8	-99.5	373	38	-89.8
マレーシア	26,589	72	-99.7	23,993	3	-100.0	1,445	5	-99.7	1,151	64	-94.4
インドネシア	24,691	184	-99.3	20,480	4	-100.0	1,265	2	-99.8	2,946	178	-94.0
フィリピン	39,728	236	-99.4	34,322	17	-100.0	1,690	9	-99.5	3,716	210	-94.3
ベトナム	39,905	194	-99.5	4,121	2	-100.0	2,279	2	-99.9	33,505	190	-99.4
インド	6,582	649	-90.1	1,742	7	-99.6	2,489	33	-98.7	2,351	609	-74.1
豪州	48,522	33	-99.9	45,910	2	-100.0	1,792	3	-99.8	820	28	-96.6
米国	73,373	367	-99.5	58,899	81	-99.9	10,967	53	-99.5	3,507	233	-93.4
カナダ	17,601	22	-99.9	15,903	3	-100.0	1,165	2	-99.8	533	17	-96.8
メキシコ	2,968	23	-99.2	2,649	0	-100.0	207	0	-100.0	112	23	-79.5
英国	18,645	73	-99.6	14,749	8	-99.9	2,805	5	-99.8	1,091	60	-94.5
フランス	17,123	79	-99.5	13,800	6	-100.0	2,095	9	-99.6	1,228	64	-94.8
ドイツ	10,937	52	-99.5	7,288	6	-99.9	2,937	12	-99.6	712	34	-95.2
イタリア	4,718	34	-99.3	3,333	6	-99.8	1,065	7	-99.3	320	21	-93.4
ロシア	6,702	90	-98.7	5,098	7	-99.9	1,189	9	-99.2	415	74	-82.2
スペイン	4,329	38	-99.1	3,514	0	-100.0	519	5	-99.0	296	33	-88.9
中東地域	2,086	28	-98.7	1,422	0	-100.0	397	5	-98.7	267	23	-91.4
その他	55,991	1,922	-100.0	35,942	30	-100.0	8,431	240	-100.0	11,618	1,652	-99.9

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2021年5月19日付より筆者加工

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2注参照。